

『教員養成学研究』編集・投稿規定

1. 本誌には「教員養成学」に関する研究論文等を掲載する。これは、以下の諸点の研究に関するものとする。
 - (A) 教員養成カリキュラムの研究開発
 - ① 教員の資質向上のための新しい教員養成カリキュラムの研究開発
 - ② 教職科目・教科専門・教科教育法の有機的連関及び各々の内容に関する研究開発
 - ③ 小学校教員養成カリキュラムの在り方に関する研究開発
 - ④ 教育実習の在り方に関する研究開発
 - ⑤ 大学院レベルにおける現職教育の在り方の研究開発
 - (B) 教員養成学部組織の研究開発
 - ① 教員養成学部の教員組織体制に関する研究開発
 - ② 教師としての適性を考慮した入学者選抜方法に関する研究開発
 - ③ 地域社会のニーズと子どもの実態を踏まえた「望ましい教員像」の研究開発
 - ④ 附属学校の在り方に関する研究開発
 - ⑤ 教員養成学部教員に必要な資質に関する研究開発
 - (C) その他教員養成の改善にかかわる実践的研究等
2. 投稿原稿は以下の2ジャンルとし、投稿原稿送付時にジャンルを申告するものとする。
 - 研究論文（教員養成学に関する研究）
 - 実践報告（個人および勤務校での教員養成学に関する実践の報告）
3. 本誌の編集のために、編集委員会をおく。
4. 編集委員の選任は教員養成学研究開発センターが行う。編集委員に学外者を選任することができる。
5. 編集委員の任期は2年とする。編集委員の互選により編集委員長をおく。
6. 発行は原則として毎年7月の年1回とする。
7. 原稿の締め切りは5月10日とする。
8. 原稿は、別に定める執筆要領に従って作成するものとする。
9. 論文等の掲載は審査を経て決定される。審査（査読）は編集委員以外の人に依頼する場合がある。審査結果については編集委員会より著者に通知する。編集委員会が著者と協議を行い、修正を求めた上で掲載することがある。

この規定は、平成20年4月1日から施行する。

『教員養成学研究』執筆要領

1. 提出原稿には、表紙、要旨、本文及び引用・参考文献が揃っていなければならない。
2. 表紙には、研究論文か実践報告かのジャンル申告、論文等の表題、著者名（和英両語で）、所属名、key-words（3～5つ）、e-mailアドレスを記載する。なお、英語にかえて、他の汎用性の高い言語で記載してもよい。
3. 要旨は本文の前に入れ、和文の場合は400字以内、欧文の場合は120語以内とする。
4. 論文等の分量は、原則として、図表を含めて、A4判用紙44字×46行で10枚以内（400字詰原稿用紙換算で51枚）とする。欧文の場合も1ページ46行を原則とする。なお、印刷に当たっては、1ページ当たり24字×46行の2段組となる。原稿は印字した原稿とパソコンデータ（フロッピー・CD-R等）を提出し、ラベルに著者名、使用機種、使用ソフトを書く。
5. 文献の引用・参考は、次の(1)または(2)のように記載する。注記については(2)に準ずる。
 - (1) 引用・参考部分の後に、括弧（ ）を用いて著者と発行年を入れる。発行年が同じ文献がある場合には2004a, 2004b, …とする。引用・参考文献は論文等の末尾に一括して掲げる。記載の順序は著者の姓のアルファベット順とし、同一著者が2つ以上あるときは発表年代順に並べる。

例 …である（弘山, 2003）, …であった（弘川, 2004a）
弘山太郎, 2003, 「教員養成課程のカリキュラムに関する一考察」, 日本教育学会誌, 第34巻7号, pp.56-67
弘川花子, 2004a, 『教育史研究』, 弘前大学出版会, p.57
 - (2) 本文中の該当箇所の右肩に片括弧付き番号をつけて表示し、論文等の末尾に一括して掲げる。出典、参照史資料、典拠箇所のページ数、史資料番号などを明示する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の表題、雑誌名、巻号、発行年、頁を、単行本の場合は著者名、書名、出版社、発行年、頁を記載する。

例 …である¹⁾。
1) 弘前一郎, 2004, 『教育学』, 弘前大学出版会, 156～158頁
2) John Dewey. 1933. How We Think. D.C.Heath and Company. pp.15-16.
6. 校正は原則として著者が行い、初校までとする。校正は印刷上の誤りの訂正のみとし、文章や図表の差し換え、追加などは認めない。
7. 別刷を希望する場合は投稿の際に必要な部数を申し出る。経費は著者負担とする。